|  |  |
| --- | --- |
| **Ys07logo2** | **THE Y’S MEN’S CLUB OF**  **KANAZAWA-SAIGAWA**  CHARTERED IN JUNE 12, 1993  AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF  Y’S MEN’S CLUBS  THE SERVICE CLUB OF THE YMCA  KANAZAWA YMCA：44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN 920-0998  <http://www.ys-chubu.jp/saigaways/> |

**国際会長主題　　　　 「私たちの未来は、今日から始まる」“Our Future Begins Today”**

**アジア地域会長主題　 「ワイズ運動を尊重しよう」“Respect Y’s Movement”**

**西日本区理事主題 「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を！」**

**“Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit !”**

**中部部長主題　　 　　「出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう」**

**金沢犀川ｸﾗﾌﾞ会長主題**　**「平和を実現しよう！」“Let’s be the peacemakers!”**

会長：平口哲夫，副会長・書記：北　肇夫，直前会長・会計：澤瀬　諭

|  |
| --- |
| **今月の聖句**：であろうとめ、まっすぐに見ようとせよ。平和な人には未来がある。  新共同訳 詩編37章37節 |

**２０１７年３月強調月間**

**JWF**

JWFは皆様の厚意によって支えられています。個人やクラブの記念に合わせて献金をお願いします。

　　　　森本榮三JWF管理委員長（大阪高槻クラブ）

|  |  |
| --- | --- |
| ☆☆☆**３月第一例会案内**☆☆☆  **日　時**：3月9日(木)19:00～21:00  **会　場**：金沢都ﾎﾃﾙ(JR金沢駅兼六園口前)  **会　費**：3,500円(夕食費含む)  **準　備**：北ﾜｲｽﾞ  ＊＊＊**初日プログラム**＊＊＊  **司　会**　　　　　　　　　：竹中ﾜｲｽﾞ  **開会・点鐘**　　　　　　　：平口会長  **ワイズソング**　　　　　　：一同  **今月の聖句**　：司会者  **ゲスト紹介**　　　　　　　：司会者  **今月のハッピーバスデイ**：平口会長  　北ﾜｲｽﾞ(26日)  **食前の感謝**：三谷ﾜｲｽﾞ  **―― 会　食 ――**  **卓　話**：「日本画について」  前田有加里氏(日本画家)  **事業委員会報告**：各委員  **ニコニコタイム**　　　　　：澤瀬ﾜｲｽﾞ  **閉会点鐘**　　　　　　　 ：平口会長  **＊**例会に使用済み切手、ｱﾙﾐ缶、ｳｴｽ用布製品をご持参下さい。 | ☆☆☆**２月例会報告**☆☆☆  **[第一例会]** 2月11日(土・祝)～12日(日)、一軒宿の赤穂谷温泉(小松市中海町)、参加者：中川和彦・間塚徳彦(長浜ｸﾗﾌﾞ)、瀧平才治(ｹﾞｽﾄ)、北・澤瀬・竹中・平口・三谷。  **[第二例会]**2月16日(木)19:00～21:00、竹中ﾁｬﾍﾟﾙ、参加者：北・澤瀬・竹中・平口・三谷。 |
| **次期会長主査研修会**　3月18日(土)～19日(日)、大阪ｺﾛﾅﾎﾃﾙ、北次期会長参加予定。**長浜ｸﾗﾌﾞ30周年記念例会**4月1日(土)12:30～、北ﾋﾞﾜｺﾎﾃﾙ ｸﾞﾗﾂｨｴ(長浜市港町4-17)、北・澤瀬・平口・三谷参加予定。 |
| **今月の聖句について**　「今月の聖句」は、少なくとも平口が担当してからは、新共同訳を採用している。しかし、今回の箇所は、新改訳では「全き人に目を留め、直ぐな人を見よ。平和の人には子孫ができる。」、関根訳では「正しきを守り、直きを心がけよ。そのような人の終わりは平安である。」とされていて、訳し方がかなり異なるので、他訳を紹介する次第である。37節の前半と後半との関連から言えば、関根訳のほうが繋がりがよい。 |
| **３月の当番**　司会：北、準備：澤瀬  **《 金沢YMCAのﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ 》**  <http://www.ys-chubu.jp/kanazawaymca/> |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 当クラブ | 2月出席者 | 2月出席率(正会員) | ＢＦポイント | ニコニコタイム |
| 正会員　　4名  広義会員　0名  功労会員　1名 | 正会員　 　　4名  功労会員 1名  メネット 　 0名  ビジター 　　2名  ゲスト 1名 | 4÷4✕100  メーキャップ 0名 | 前月繰越切手 3,501g  2月分切手 　 62g  今年度累計  切手 3,563g  現金 円 | 前月累計　 　　74,803円  2月　　 　　7,500円 |
| 合計　　　5名 | 8名 | 100％ |  | 累計　82,303円 |

**◆ 2月新春特別例会参加記 ◆**

澤瀬　諭

2017年2月11日(土・祝)～12日(日)に一軒宿の赤穂谷温泉(小松市)で当ｸﾗﾌﾞ恒例の2月新春特別例会が開催された。例会には長浜ｸﾗﾌﾞから中川和彦会長と間塚徳彦ﾜｲｽﾞ(地域奉仕・環境)のご両人とｹﾞｽﾄとして瀧平才治氏(元・金沢犀川ｸﾗﾌﾞ会員)の参加をいただき、ﾒﾝﾊﾞｰ5名と合わせて8名の例会となった。

当日、日本海側は大雪注意報が出ている中、長浜からの道中が心配ではあったが、無事、宿に到着され安堵。平口会長の卓話「秋のｶﾅﾀﾞ旅行体験談」を豊富なｽﾗｲﾄﾞを見ながら拝聴した。偶然、長浜ｸﾗﾌﾞの間塚ﾜｲｽﾞの誕生日が2月9日であったので、当ｸﾗﾌﾞからささやかなﾌﾟﾚｾﾞﾝﾄを差し上げた。例会終了後、お待ちかねの懇親会となり、この地ならではの熊肉や猪肉、岩魚やコイなど、山際ならではの料理の数々に舌鼓をうち、楽しいひとときとなった。長浜ｸﾗﾌﾞのご両人は明日早朝出発のため、帰途の無事を祈り就寝。



（11日、夕食前に記念撮影）



（12日、解散前にﾛﾋﾞｰにて）

* **第2回東西日本区交流会参加記 ◆**

　平口 哲夫

　2017年2月4～5日、御殿場の国際青少年ｾﾝﾀｰ“東山荘(とうざんそう)”で開催されたﾜｲｽﾞﾒﾝｽﾞｸﾗﾌﾞ国際協会第2回東西日本区交流会に参加。米原経由往復や周遊よりも割高だが、今回は快適さを優先させて、東京経由の新幹線乗り継ぎで往復。三島・東山荘間は送迎バスを利用。

東山荘には13:00頃到着、昼食後、まずは富士山を見てやろうと、1号館(斉藤記念館)裏の“夕陽(せきよう)の丘”に登った。14:00本館講堂で開始された第1部「開会式・講演会」のあと、第2部「交流ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」は6号館第10会議室で開催の「IBC/DBC」に参加。当初、「ｳｵｰｷﾝｸﾞ」に参加のつもりだったが、事前に東日本区の太田勝人 国際・交流事業委員長(東京世田谷ｸﾗﾌﾞ)からお誘いがあったため、予定を変更。



（4日、交流ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑIBC/DBCに参加）

　第3部「夕食懇親会」(会場：体育館)と第4部「ﾌｪﾛｰｼｯﾌﾟｱﾜｰ」(会場：本館1階食堂)に参加。宿泊室は6号館306号室(2段ﾍﾞｯﾄﾞ4組)、名古屋ｸﾗﾌﾞからの参加者5名と同室。疲れたので風呂に入らずに就寝。

　翌朝6:30、「早朝ｳｫｰｷﾝｸﾞ」に参加。東山湖(ひがしやまこ)を反時計回りに散歩してから、ｷｬﾝﾌﾟ場で焚火にあたりながら富士山関係のｸｲｽﾞをしたり、ｼﾉﾀﾞｹの先端に付けたﾏｼｭﾏﾛを焚火で炙って食べたり。その後、“夕陽の丘”に登って朝の富士山鑑賞。



（5日早朝ｳｫｰｷﾝｸﾞ、東山湖から見た紅笠がけ富士）

　9:00から日曜礼拝、10:00から第5部「講演、報告、DBC/IBC締結式、閉会式」。講演は山田公平 前ｱｼﾞｱ・太平洋YMCA同盟総主事による「ﾜｲｽﾞとYMCA、今後への期待」。昼食後、帰路についた。

私の東山荘訪問は、1966年8月18～23日の第75回日本キリスト教青年会同盟夏季学校に参加して以来、51年ぶり。当時の記憶は旧本館と富士山ぐらいなので、今回も初訪問のごとく新鮮な体験だった。

* **ロシア・バルト海クルーズ体験記(3) ◆**

　平口 哲夫

　2015年8月22日現地時間19:00にﾄﾞｲﾂのｷｰﾙ港からｸﾙｰｽﾞ船“MSCｵｰｹｽﾄﾗ”でｽｳｪｰﾃﾞﾝのｽﾄｯｸﾎﾙﾑに向かう船旅は、翌23日が終日航海だったので、二日がかりで船内散歩、ｴｱﾛﾋﾞｸｽ、ﾃﾞｯｷ6/7ｼｱﾀｰｼｮｰ鑑賞、朝焼け・夕焼け見物などを楽しみました。



（MSCｵｰｹｽﾄﾗのﾃﾞｯｷ6にあるｻﾊﾞﾝﾅﾊﾞｰにて）



（8月24日現地時間5:23、ｽﾄｯｸﾎﾙﾑ湾の朝焼け）

（つづく）